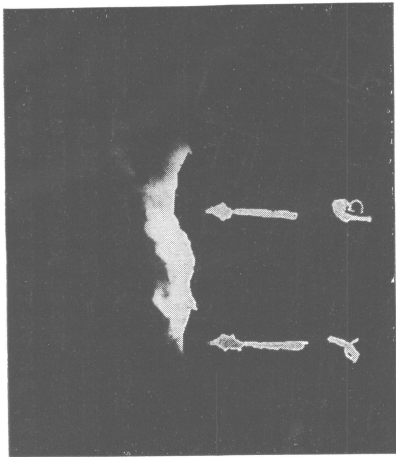
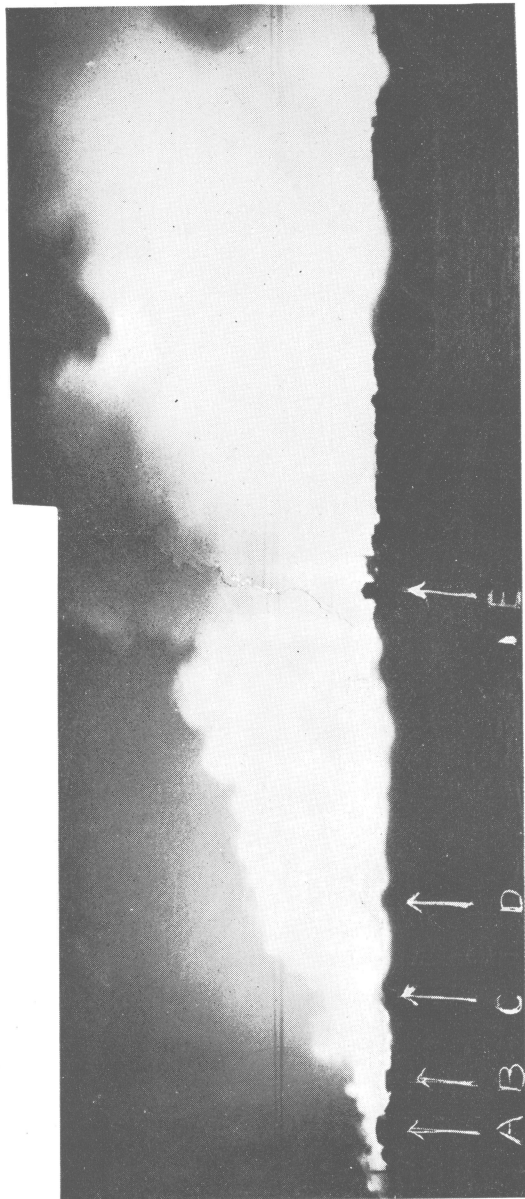


第1圖 焰上初期 (川瀬二郎撮影, 3時20分)



第2圖 延焼, 拡大期 (中野徳治撮影, 4時30分)



第3圖 焰上最盛期 (中野徳治撮影, 5時10分)

第1表 新潟大火時の風

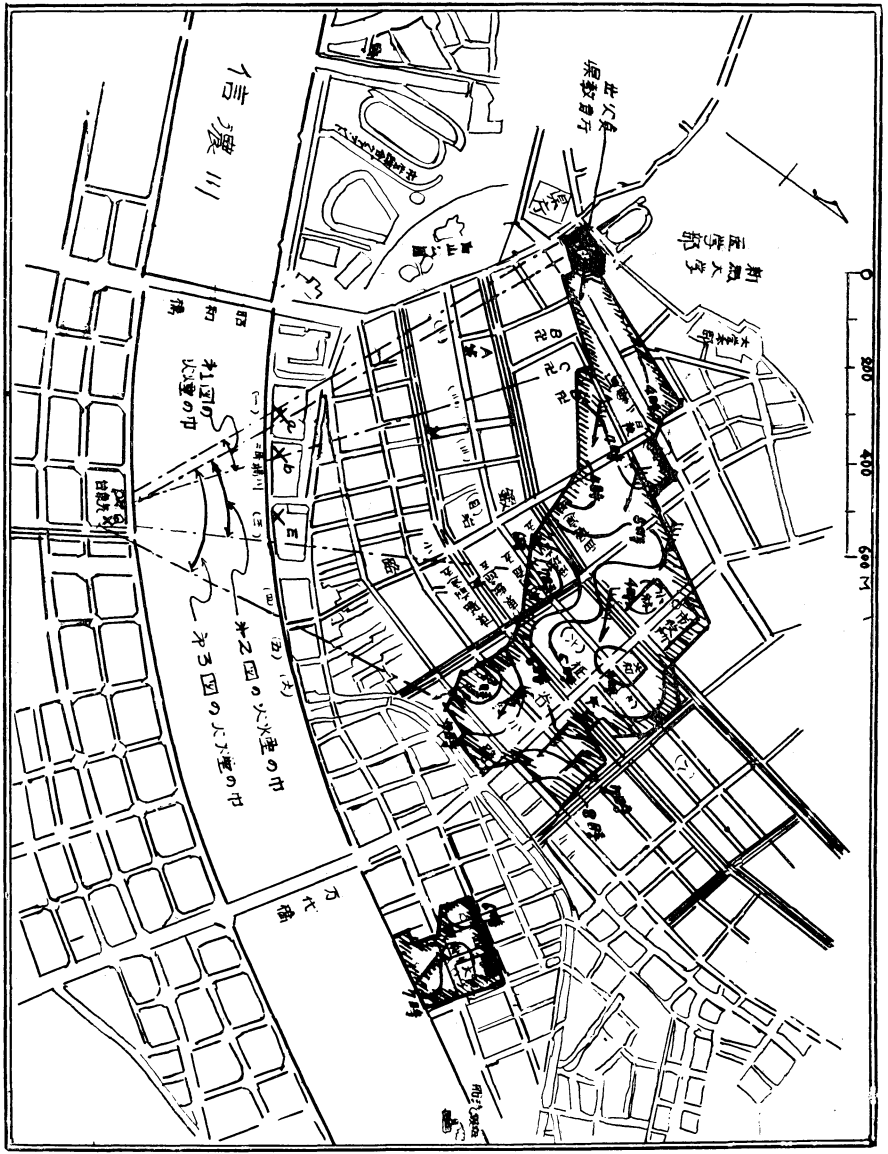
時刻	風向	風速
01.00	W	14.2
02.00	WSW	19.9
03.00	WSW	20.2
04.00	WSW	17.3
05.00	WSW	14.9
06.00	W	12.9
07.00	W	8.5
08.00	W	5.0
09.00	W	5.9
10.00	NNW	6.3
11.00	N	9.4

新潟大火の写真

新潟地方気象台

去る10月1日の新潟大火の延焼の経過を示す写真が得られているので報告する。

第1図は消防自動車のサイレンをきいて直に撮映したもので時刻は午前3時20分頃である。撮映位置は第4図のP点で、新潟地方気象台構内の台長官舎の裏木戸から出た所である。まだ初期で火煙の規模も小さいが午前3時05分に瞬間最大風速33.6m/sを観測した直後であり、これだけに見えるようでは大火となるのは必至と思われる。火事は見る見る拡大していった。風下の職員およびその近親の安否が気ずかわれる。第2図、第3図はこの延焼拡大



の経過を示している。第2図は4時30分頃、第3図は5時10分頃である。カメラの位置はQ点で風力塔の上である。火煙の手前に浮き上っている地物 α , β , A, R, C, D, E, はそれぞれ第4図の同番号の建物に相当しており、 α = 電産会館, β = 新潟県森林組合連合会, A = 第四銀行新潟支店, B = 本淨寺, C = 眞淨寺, D = 超額寺, E = 丸山材木店である。これらを基準にして写真に見える火煙の巾を第4図の上に鎖線で示してある。火災時の新潟の風向風速は第1表のとおりであるから写真を撮映した時刻には煙は WSW から ENE に流れていたものと思われる。その後風向が変るにつれて煙跡も東向きにのびているのがわかる。第4図の煙跡の部分は簡略な見取図であるが詳細は別に報告される筈である。